



— 日本学術会議主催公開シンポジウム —

日本学術会議の分野別参照基準

大学教育の質保証と教学マネジメント

2008年に文部科学省から審議依頼を受けたことを契機として、日本学術会議は「大学教育の分野別質保証」に取り組み、10年以上にわたる期間を経て、現在までに32の学問分野において教育課程編成上の参照基準を策定しました。この間、大学の質保証は国内外で進展がみられます。

日本においては2016年に3つのポリシーの策定・公開が義務化され、2019年に出された中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」は、さらに各大学が「教学マネジメント」を確立すべきことを求めています。この教学マネジメントとは、近年の認証評価で重視される「内部質保証」と基本的に同じものと考えられます。国内外の取組のいずれにも共通するのは、学修成果を如何にステークホルダーに対して分かり易く説明するかという問題意識です。こうした状況の下、九州大学では全学的に3ポリシーの見直しを進めており、その中で、理学部物理学科では日本学術会議の「物理学・天文学分野の参照基準」を参照してディプロマポリシーを策定しました。一方、学術会議においても、当面の参照基準としては最後のものとなる「教育学分野の参照基準」の策定を進めており、9月20日よりその第二次案をパブリックコメントに付しています。

本シンポジウムは、科研費による研究成果も踏まえつつ、教学マネジメントとの関わりから参照基準の役割・活用方法を整理・提案するとともに、今後の大学教育の質保証の在り方について検討することで、各大学における取組の一助とするものです。

日時: 令和元年10月27日(日) 13:00~17:00 (12:30受付開始)

場所: 日本学術会議講堂 (会場の地図は裏面を参照ください。)

お問い合わせ・お申込み (裏面を参照ください。)

— プログラム —

13:00 開会の挨拶 三成 美保(日本学術会議副会長、大学教育の分野別質保証委員会副委員長)

13:05~15:25 第1部 講演

「日本学術会議の教育課程編成上の参照基準について」(30分)

北原 和夫(日本学術会議特任連携会員、国際基督教大学名誉教授)

「大学教育の質保証をめぐる海外の動向」(20分)

吉田 文(日本学術会議連携会員、早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

「九州大学における教学マネジメント改革の取組」(60分)

深堀 聡子(日本学術会議特任連携会員、九州大学教育改革推進本部教授)

木村 崇(九州大学大学院 理学研究院 教授)

「教育学分野の参照基準と、参照基準の役割について」(30分)

松下佳代(日本学術会議会員、京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

15:25~15:35 休憩

15:35~16:35 第2部 パネルディスカッション「今後の大学教育の質保証と参照基準」(60分)

モデレーター 吉田文

パネリスト 北原和夫、木村崇、深堀聡子、松下佳代、三成美保

日比谷潤子(日本学術会議連携会員、国際基督教大学学長)

16:35 会場からの質問への応答

16:55 閉会の挨拶 高祖 敏明(日本学術会議特任連携会員、聖心女子大学学長、上智大学名誉教授)

司会: 姉川 恭子(早稲田大学大学総合研究センター講師)

主催: 日本学術会議 大学教育の分野別質保証委員会

登壇者のご紹介



三成 美保 みつなり・みほ

奈良女子大学副学長・研究院生活環境科学系教授、日本学術会議副会長。1956年生まれ。専門はジェンダー法学、ジェンダー史。大阪大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。博士(法学)。摂南大学法学部専任講師、助教授、教授を経て、2012年より奈良女子大学研究院生活環境科学系教

2016年より同大学副学長。著書に、『教育とLGBTIをつなぐ：学校・大学の現場から考える』(青弓社、2017年)など。2017年よりジェンダー法学会理事長、日本学術会議副会長、同 大学教育の分野別質保証委員会副委員長。



松下 佳代 まつした・かよ

京都大学高等教育研究開発センター教授、専門は教育方法学(特に、学習論、能力論、評価論)。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学博士(教育学)。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授を経て、2004年より現職。著書に、『パフォーマンス評価』(日本標準)、

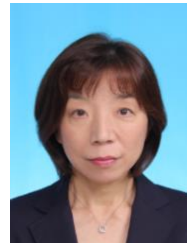
『〈新しい能力〉は教育を変えるか』(ミネルヴァ書房、編著)、『ディープ・アクティブラーニング』(勁草書房、編著)等がある。2014年～日本学術会議連携会員、2017年～同会員。2017年～日本学術会議教育学分野の参照基準検討分科会委員長。中央教育審議会専門委員(大学分科会)。



北原 和夫 きたはら・かずお

国際基督教大学名誉教授。東京工業大学名誉教授。専門は非平衡系の統計物理学。1946年生まれ。東京大学大学院修士号、ブリュッセル自由大学で理学博士号を取得。MIT研究員、東京大学理学部助手、静岡大学教養部助教授、東京工業大学理学部助教授・教授、国際基督教大学教授、東京理科大学教授

2002年日本物理学会会長。2003～2005年日本学術会議会員、2008～2011年 同 大学教育の分野別質保証委員会委員長、著書に『国際流動化時代の高等教育』(松塚ゆかり編、ミネルヴァ書房、2016年)等。



吉田 文 よしだ・あや

早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は教育社会学、高等教育論。1957年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。メディア教育開発センター助教授・教授を経て、2008年4月から現職。著書に、『大学と教養教育』(岩波書店)、『再』取得学歴と問う』(共編著、東信堂)、

『航行をはじめた専門職大学院』(共著、東信堂)等がある。2014年～日本学術会議連携会員、同 大学教育の分野別質保証委員会委員。2017年～日本教育社会学会会長。



深堀 聡子 ふかほり・さとこ

九州大学教育改革推進本部教授。専門は、比較教育学、教育社会学。1967年生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程中退、コロンビア大学大学院教育学研究科博士課程修了。Ph.D.。東京大学社会科学研究所助手、京都女子大学短期大学部講師・准教授、国立教育政策研究所高等教

研究部総括研究官・副部長を経て、2018年より現職。著書に、『アウトカムに基づく大学教育の質保証 - チューニングとアセスメントにみる世界の動向』(編著、東信堂)等がある。日本学術会議特任連携会員、同 大学教育の分野別質保証委員会委員。中央教育審議会専門委員(大学分科会)。



木村 崇 きむら・たかし

九州大学理学研究院主幹教授。専門は、物性物理学。1975年生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了。博士(工学)。理化学研究所、東京大学物性研究所助手・助教、九州大学稲盛フロンティア研究センター特任教授・教授を経て、2013年より現職。

2013年、「革新的純スピン流制御法の開発とナノスピ応用」で日本学術振興会賞。2018年に「熱スピン注入を基にしたワイヤレス・スピンドバイスの開発」により、ドイツ・イノベーション・アワード「ゴットフリート・ワグネル賞」を受賞。



日比谷 潤子 ひびや・じゅんこ

国際基督教大学学長。専門は言語学。1957年生まれ。ペンシルベニア大学 アーツ・サイエンス研究科修了。Ph.D.。慶應義塾大学国際センター専任講師・助教授、国際基督教大学準教授、教授を経て、2012年より現職。著書に、『はじめて学ぶ社会言語学』(編著、ミネルヴァ書房)など。

2014年～日本学術会議連携会員、2015年～、中央教育審議会委員。



高祖 敏明 こうそ・としあき

聖心女子大学学長。専門は比較教育史。1947年生まれ。上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程満期退学。同文部教育学科助手、講師、助教授、教授を経て、1999年4月から2018年3月まで学校法人上智学院理事長。2019年4月より現職。2012～日本学術会議特任連携会員。2008～2011

同 大学教育の分野別質保証推進委員会副委員長、2012年～同 大学教育の分野別質保証委員会委員。

お問い合わせ・お申込み

国際基督教大学 北原研究室

メールアドレス sympo1027@gmail.com

聴講希望の方は事前にメールで、ご氏名・ご所属を明記の上、上記にご連絡下さい。先着順に受付確認を返信致します。事前登録なしの聴講も可能ですが、聴講者が会場定員(330名)を上回る場合は聴講いただけない可能性があります。

主催：日本学術会議 大学教育の分野別質保証委員会
共催：日本学術会議 科学者委員会 学術と教育分科会
日本学術振興会 科学研究費基盤(B)「参照基準の利用状況を通じた大学教育のカリキュラム改善に関する組織文脈的要因の考察」(課題番号17H02685/研究代表・北原和夫)

会場地図



(アクセス) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口